

平成26年9月25日

宗像市議会
議長 吉田 益美 様

予算決算第2特別委員会
委員長 福田 昭彦

委員会審査報告書

本委員会に付託された下記事件の審査結果を、宗像市議会委員会条例第37条の規定により報告します。

記

第68号議案から第75号議案は、地方自治法及び地方公営企業法の規定により、平成25年度各会計歳入歳出決算が、監査委員の意見を付けて議会の認定に付されたものである。

第68号議案 平成25年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 1,378万5,205円(前年度比13.7%減)
歳出決算額 854万5,449円(前年度比22.8%減)
歳入歳出差引額 523万9,756円
- 2 25年度中に支払いがなかった滞納者は8人。滞納者本人や保証人も含めて支払いが困難なケースについては、国の償還推進助成金を利用しながら、滞納整理に努める。
- 3 貸付は平成8年度を最後に終了しており、現在は回収業務のみを行っている。平成33年度で当事業は終了するが、その後の滞納繰越に係る

回収業務については国の方針が決定していないため、現段階ではすべての債務が終わるまで市が継続する予定である。

【意見】

(賛成意見)

回収業務については、どれだけの努力をするかの問題。貸付事業自体は、過去の事業ではあるが、貸付当時の行政の認識の甘さがこういう結果を招いているという認識を持つ必要があることを指摘する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で認定した。

第69号議案 平成25年度宗像市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

【事業勘定】

- 1 歳入決算額 101億9,580万2,394円(前年度比2.2%増)
歳出決算額 99億9,320万5,547円(前年度比1.3%増)
歳入歳出差引額 2億 259万6,847円
- 2 25年度は国民健康保険財政の収支を改善するため、12年ぶりに保険税率を改定し、納期を8期から10期に変更した。税率の改定にあたっては、コミュニティ単位で市民向けの説明会を開催した。
- 3 保険税の収納率は95.7%で、前年度と同水準であった。これは、25年10月から市役所窓口で口座振替受付サービスを開始した結果、口座振替の割合が向上したことも影響していると考えられる。
- 4 25年度の医療費は、24年度決算見込医療費から約4.5%の伸びを予測していたが、24年度確定医療費と比較して、総医療費で0.5%、1人当たり医療費で1.0%という低い伸び率になった。その原因について医師への聞き取り調査も行ったが、原因特定までには至らなかった。

- 5 実質単年度収支は、約9,200万円の黒字で、平成15年度以来、10年ぶりの黒字となった。これは、医療費の伸びが見込みよりもかなり低い伸び率となったことが主な要因である。しかし、後期高齢者支援金分と介護納付金分は見込額と確定額にほとんど差がなかったことから赤字となっており、後期高齢者支援金分は医療給付費分の黒字分で、介護納付金分はその他一般会計繰入金で補てんした。
- 6 医療費の適正化対策として、ジェネリック医薬品の使用促進、レセプト点検の充実・強化、特定健診や特定保健指導による生活習慣病の早期発見・早期治療や重症化予防対策にも取り組んだ。ジェネリック医薬品は、数量ベースで34.4%、金額ベースで13.0%といずれも福岡県全体の普及率を上回った。

〔直営診療施設勘定〕

- 1 歳入決算額 7,730万3,475円(前年度比6.9%減)
歳出決算額 7,646万6,465円(前年度比7.1%減)
歳入歳出差引額 83万7,010円
- 2 前年度より決算額が減少した主な要因は、医療用機械器具の更新やトイレ改修工事にかかる経費がなくなったためである。
- 3 受診者数は、前年度比で約2,400件減少した。これは、医師の判断により、薬の処方期間を延ばしたことが要因である。

【意見】

(反対意見)

・国保税の値上げについては政策的課題で、市民に負担をかけないように法定外の繰り入れなどでこの自治体も努力している。今後も市民の健康を守るためにがんばってもらいたい。しかし、国民健康保険制度は高齢者や収入が不安定な人を対象にした制度であり、制度そのものに問題がある。

【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

第70号議案 平成25年度宗像市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入決算額 13億5,514万2,873円(前年度比1.5%増)
歳出決算額 13億1,641万9,290円(前年度比1.8%増)
歳入歳出差引額 3,872万3,583円
- 2 被保険者数は、75歳以上が1万1,364人、一定の障がいがある65歳以上75歳未満が456人、合計で1万1,820人であり、前年度比2.3%増加した。
- 3 保険料の賦課徴収が主な市の業務であり、対象者への口座振替の案内、納付勧奨などを徹底している。25年度の現年度分収納率は99.5%で、県平均99.1%を若干上回っている。

【意見】

(反対意見)

・市の業務は保険料の徴収業務だけであるが、後期高齢者医療制度は、医療制度の中から後期高齢者を切り離すもので、制度そのものに問題がある。

【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

第71号議案 平成25年度宗像市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

〔保険事業勘定〕

- 1 歳入決算額 65億1,069万9,694円(前年度比5.1%増)
歳出決算額 64億7,265万8,429円(前年度比5.4%増)
歳入歳出差引額 3,804万1,265円
- 2 居宅サービスや施設サービスなどの保険給付費の総額は60億9,472万円で、前年度比で約2億9,200万円、5%の増。介護予防事業など地域支援事業の利用者負担額を除く事業費総額は、1億4,750万円で、前年度比で約959万円、7%の増。
- 3 25年度の認定審査では、要支援1の438人中35%の154人が、要支援2の596人中16%の98人の介護度が重くなった。
- 4 地域包括支援センターについては、今後の地域包括ケアシステムに対応する体制構築や、虐待防止など高齢者の権利擁護に対応する人材の育成や確保が課題である。

〔介護サービス事業勘定〕

- 1 歳入決算額 4,158万 141円(前年度比17.8%増)
歳出決算額 3,625万7,055円(前年度比10.3%増)
歳入歳出差引額 532万3,086円
- 2 歳入の主なものは、介護予防サービス計画費収入で、歳出は、介護予防サービス計画作成のための費用で、非常勤任用職員の報酬、計画作成委託料、事業所から包括支援センターに出向している職員の負担金などである。

【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

第72号議案 平成25年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに4,141万4,750円
(前年度比15.9%増)
- 2 介護認定審査会は福津市と共同設置し、25年度は14合議体で延べ252回開催。審査件数は、宗像市と福津市合計6,774件、構成比率は宗像市63.6%、福津市36.4%。この割合を基礎に、福津市の負担金と本市の繰入金を算出している。主な歳出は、認定審査会の委員報酬及び関係職員人件費である。

【審査結果】

委員会は全員賛成で認定した。

第73号議案 平成25年度宗像市渡船事業特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 歳入歳出決算額はともに4億 974万7,669円
(前年度比 34.8%減)
- 2 前年度より決算額が減少した主な要因は、神湊ターミナル整備事業の終了により関係費用がなくなったためである。また、25年度は事務所職員を1人削減し、船舶3隻の検査に伴う設計監理業務の委託を廃止し、職員が行うこととするなど、経費の削減に努めた。船舶や施設の老朽化に伴い、今後は営繕費がかさむことが予測される。
- 3 25年度は、地島航路、大島航路合わせて4,752.5便を運航し、欠航はすべて天候不順によるもので、船舶故障や事故による欠航はなかった。乗客数は地島航路6万2,910人、大島航路20万6,202人、合計26万9,112人で前年度に比べ減少している。その中でも、団体客と貸し切りでの乗船数は増加しており、団体客は子どもより大人の方が増えている。団体客の増加は、市制10周年のマラソン大会による影響が大きい。

【審査結果】

委員会は全員賛成で認定した。

第 74 号議案 平成 25 年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計歳入歳出決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 本会計は、前年度の特定環境保全等下水道事業特別会計のうち漁業集落排水処理施設事業を引き継いだものであり、初めての決算である。

歳入決算額 1 億 1,682 万 885 円

歳出決算額 1 億 1,672 万 6,935 円

歳入歳出差引額 9 万 3,950 円

- 2 鐘崎、地島、大島地区の排水施設の維持管理業務のほか、平成 26 年度から策定する機能保全計画の事前調査として、処理場の施設劣化診断業務を行った。

【審査結果】

委員会は全員賛成で認定した。

第 75 号議案 平成 25 年度宗像市下水道事業会計決算認定について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 収益的収支の決算状況（税込み）

収入決算額 20 億 7,760 万 2,193 円

支出決算額 18 億 8,737 万 5,283 円

収支差引額 1 億 9,022 万 6,910 円

- 2 資本的収支の決算状況（税込み）

収入決算額 5 億 6,384 万 6,700 円

支出決算額 15 億 3,754 万 7,488 円

収支差引額 9 億 7,370 万 788 円

収入不足分は、損益勘定留保資金等で補てんしている。

- 3 旧玄海地域の特定環境保全公共下水道事業に地方公営企業法を適用したことから、事業範囲が拡大し、事業収入、支出及び業務量等が前年度に比べ大きく増加した。

- 4 25 年度末の下水道普及率は前年度から 5.5 ポイント増加し、95.8%となった。処理区域面積は、事業拡大に伴い、230ヘクタール増加し、2,588ヘクタールとなった。

- 5 下水道使用料の収納率は現年度分 97.1%、過年度分 50.0%で、いずれも前年度比 0.2 ポイント下降している。平成 23 年度から開始したクレジット及びコンビニ収納がその利便性から利用者が拡大していることが影響している。

- 6 事業が拡大したことで、汚水処理費回収率及び資本費回収率が前年度より低下したが、下水道経営は黒字となっているので、下水道料金の値上げは当面考えていない。

【審査結果】

委員会は賛成多数で認定した。

第 77 号議案 平成 26 年度宗像市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第 1 号）について

歳入歳出それぞれ 223 万 9 千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ 1,297 万 2 千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

平成25年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、歳出で減債基金積立金を増額する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第78号議案 平成26年度宗像市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

事業勘定は、歳入歳出それぞれ6,528万7千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ103億5,098万5千円とする。直営診療施設勘定は、歳入歳出それぞれ3万3千円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ1億3,474万2千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 事業勘定は、平成25年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額、国庫支出金等の過年度精算金やその他一般会計繰入金を減額、歳出で国庫支出金等の過年度返還金を増額するものである。
- 2 直営診療施設勘定は、平成25年度決算額の確定に伴うものと、地方債の借入利率が確定したことにより償還利子を減額するものである。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第79号議案 平成26年度宗像市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ512万6千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ14億1,448万1千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

平成25年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額し、一般会計からの繰入金を減額、歳出で後期高齢者医療広域連合納付金を増額する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第80号議案 平成26年度宗像市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

保険事業勘定は、歳入歳出それぞれ3,908万8千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ71億449万4千円とする。介護サービス事業勘定は、歳入歳出それぞれ406万2千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ5,227万3千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

- 1 保険事業勘定は、平成25年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を増額、歳出で国庫支出金等の過年度返還金を増額するものである。また、認定審査会にかかる人件費に充てるため、歳入で一般会計繰入金を、歳出で認定審査会共同設置宗像市繰出金を増額する。
- 2 介護サービス事業勘定は、平成25年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金を、歳出で予備費を増額する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第 81 号議案 平成 26 年度宗像市・福津市介護認定審査会特別会計補正予算（第 1 号）について

歳入歳出それぞれ 1 9 2 万 7 千円を増額し、予算総額を歳入歳出それぞれ 4 , 7 8 1 万 1 千円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

介護認定関係職員の人件費を増額する。審査会用の資料を精査するための専門職員が、1 1 月から育児休暇を取得するため、代替職員を補充して対応するもの。これに伴い、歳入で、福津市負担金、宗像市繰入金を増額する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第 82 号議案 平成 26 年度宗像市漁業集落排水処理施設事業特別会計補正予算（第 1 号）について

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

平成 25 年度決算額の確定に伴い、歳入で繰越金 8 万 3 千円を増額し、同額を一般会計繰入金から減額するもので、予算総額の増減はない。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。

第 83 号議案 平成 26 年度宗像市下水道事業会計補正予算（第 1 号）について

収益的収入及び支出において、収入を 1 , 3 2 8 万 5 千円減額し、収入予定額を 2 8 億 6 , 1 8 2 万 9 千円に、支出を 1 8 万 8 千円減額し、支出予定額を 2 6 億 6 , 7 0 7 万円とする。

【審査内容】

明らかになった主な事項は次のとおり。

収益的収入では、平成 25 年度決算による減価償却費の確定及び新会計制度移行整理に伴い、他会計負担金を減額し、長期前受金戻入を増額。収益的支出では取得資産等の確定に伴い減価償却費を減額する。

【審査結果】

委員会は全員賛成で原案のとおり可決した。